

Acompañamiento del baile

片桐勝彦のバイレフラメンコ

texto por Katsubiko Katagiri

VOL.23

曲の構成

～はじめに～ 2年間かけて個々の曲種について説明してきましたが、紙面の関係もあり、今月は踊りの曲の構成に的を絞って説明いたします。

◆ 曲構成の説明のしかた ◆

フラメンコには決まった振付や譜面があるわけではないので、フィン・デ・フィエスタのブレリアやセビジャーナス以外の曲を踊る場合は、曲の構成を歌手やギタリストに説明する必要があります。簡潔な説明をするためにも、歌振りの数やファルセータの有無、ブレリアやタンゴの歌の数など、自分の振りを事前に理解しておいてください。

一般的な曲の流れとしては、まずギターによるイントロ(前奏)の後に歌手のサリーダ(喉鳴らし)があって、踊り手が登場します。その後に踊り手が歌を呼ぶジャマーダ(合図)をして歌振りが始まります。もしこのようなパターンではなく、前奏やサリーダ、ジャマーダなどがなくて歌振りになる場合のみ、説明が必要になってきます。

曲の説明は簡潔なほど伴奏者に伝わります。伴奏者は説明された流れを全てメモすることなどはせず、重要な部分だけを覚えるようにして、それ以外は踊りをしっかり見て伴奏するようにしてください。

◆ サリーダ ◆

サリーダという言葉は歌手の喉鳴らし部分(サリーダ・デ・カンテ)を指して使うことが多いですが、大きい意味でギターのイントロや踊り出し部分までもサリーダという場合があります。ギターや歌のサリーダの後に踊り手が踊り出すことが一般的ですが、その前から振付が決まっている場合は打ち合わせが必要になってきます。本来自由な歌のサリーダ部分ですが、そのコンパス数を決める方が効果的な場合は歌手と相談しながら進めてください。

◆ 歌振りの数 ◆

曲の構成を説明する際に一番重要なのは、歌振りの数です。セビジャーナスは4番までと決まっていますが、他の曲種で歌振りの数が決まっていることはごく稀です。また、曲終盤で盛り上がった時に歌うブレリアやタンゴなどを歌の数に入れてしまわないように注意してください。

歌が複数ある場合、フラメンコではいろいろな歌が歌われることが多いです。つまり、全く関係のない内容の歌詞でも



〈著者プロフィール〉

日本を代表するフラメンコギタリスト。幼少の頃よりヴァイオリンを始め、その後ギターを独習。A-JARIやチリクマルカ等のグループ活動を経て、明治大学在学中にフラメンコギターを始める。'98年から長期渡西。マドリードのタブラオ「カサ・パタス」やセビージャのラジオ番組などに出演。帰国後はカニサレスとの共演やNHK「音楽のある街で」出演。主な参加CD・DVD：風回廊(渡辺えり)、天国を見た男(沢田研二)、Boy(coba)他。Estudio ROMERO主宰。

続けて歌われることもあります。

間違いやすい曲種

一つの歌詞を前半後半に分けて歌われることが多い曲種もあります。これらの曲の前半後半を1歌2歌と呼ぶのは構いませんが、どちらかをカットして振付をしたりしないように注意が必要です。間違いやすい曲種を以下に挙げておきます。

カラコレス、カーニャ、タンギージョ・デ・カイ、シギリージャ、ファルーカなど

この他、本来長い歌詞を切って歌うことの多いグアヒーラや、途中でリズムの変わるタンゴ・デル・ピジャージョ(Estando de guardia un día ~ 昨年10月号参照)なども注意してください。

◆ 歌の入り方 ◆

ジャマーダの後に直接(directoとかde un tirónなどとも言われます)歌が入る場合と、1コンパス空けて(ギターで振る)から歌う場合があります。これはその時の雰囲気や歌手の感性で変わってくるので、事前に決められない場合も多いですが、より効果的かつ自然にするには、曲の特徴などを知る必要があります。

ダイレクトで歌う曲

特に決まっているわけではないですが、12拍子でテンポの速めな曲種は、ジャマーダの後に直接歌が入ることが多いです。

ソレア・ボル・ブレリア、アレグリアス、ロメーラ、カンティニャ、カラコレスなど

この他、ファンダンゴ系でもファンダンゴ・デ・ウエルバやロンデーニャなどのコンパスものや、4拍子でもタンゴやロンバ、コロンビアーナなどリズムが速い曲種は、ダイレクトで歌われることが多いです。また、テンポの問題だけではなく、メロディーが高い音から歌われる曲(ソレアやタラントの2歌、またはシギリージャなど)もダイレクトで歌われる

ことが多いです。

1 コンパス空けて歌う曲

4拍子系の曲種は1コンパスギターで振って仕切り直してから歌われることが一般的です。

ガロティン、ティエント、タンゴ・デ・マラガなど

ティエントなどでは、エスコビージャで盛り上がった後の2歌をディレクトで歌う振付もあります。ただ、ティエントの場合高い音から始まる曲が少ないので、歌手はメロディーを足したり変えたりしてテンション高く歌う工夫をしてください。この他、3拍子系の曲種でも、グアヒーラなどテンポがゆったりしたものは1コンパス空けて歌うことが多いです。

◆ ファルセータ ◆

ファルセータの有無も曲種によって決まっているわけではありません。また歌が複数ある場合、どの歌の後にファルセータが入るかも特に決まっておらず、踊り方で表すか、何らかの方法で合図をするか、または事前にギタリストに伝える必要があります。

歌振りの後に踊り手がブラッソやブエルタやマルカールで表現していたら、ギタリストはそれを見逃さずにすぐにファルセータを弾いてください。また、歌振りの後にファルセータだと言われていても、踊り手が場所移動や締め足などを始めそうな場合は1コンパス待ってファルセータを弾かないと、踊りの振りとは区切れ目が合わない場合があります。例えば6コンパスのファルセータ振りの場合、2コンパスずつの区切れ目なのか3コンパスずつの区切れ目なのかを見ながらメロディーを弾くようにしてください。

◆ ブレリア／タンゴ ◆

3拍子系の曲はブレリア、4拍子系の曲はタンゴが歌われることが多いですが、まずその歌の数を歌手に知らせる必要があります。また、歌の数だけでなく、ブレリアやタンゴには数多い種類があるので、どのタイプの歌が欲しいのかを踊り手が把握していないといけません。旋律の高さ(キー)やコンパス数のことなど、各自研究してみてくださいね。

踊りでよく歌われるブレリア／タンゴ

エスコビージャで盛り上がった後、曲の終盤でよく歌われるブレリアやタンゴを紹介します。日本語訳は一昨年と今年の11月号を参照してください。

ソレア→ブレリア

Eres mas puro que el viento que corre por Santiago y tu mano son la herencia del pueblecito gitano.

アレグリアス→ブレリア

Aunque yo haya nacido en el Barrio de Mentidero yo nunca a ti te he mentido cuando te decía ; te quiero.

ティエント→タンゴ

De mare, del color de cera, mare, tengo yo mis propias carnes, que me ha puesto tu querer que no me conoce nadie.

タンゴ・デ・マラガ→タンゴ

Ay ay ay Qué ganas tengo que llegue el mes de los caracoles, Pá comprarle a mi gitana unas botas de botones.

タラント→タンゴ

Gitana si me quisiera te compraría en Graná la mejor cueva que hubiera.

ブレリアやタンゴ以外が歌われる曲種

ブレリアやタンゴの歌以外が歌われる曲種もあります。注意してください。

グアヒーラ、ペテネーラ、カーニャ、カラコレス、バンベーラ、ファンダンゴ・デ・ウエルバ、ロンデーニャ、シギリージャ、セラーナ、ファルカ、コロンビアーナなど

◆ 締め歌・ハケ歌 ◆

踊りの最後には、ほとんど締め歌やハケ歌が歌われます。12拍子系の曲種は踊りで締めることもできますが、4拍子の場合にはいろいろな締め方があるので、打ち合わせが必要になってきます。また、ブレリアやタンゴの歌の数が決まっても、踊り手が舞台の端に行ったり、合図があればハケ歌を歌うようにしてください。あまり決め事になってもフラメンコの即興性の良さが失われてしまうので、その場の雰囲気を最大限に拾いながらフラメンコでの会話を楽しみましょう。

◆ まとめ ◆

○曲構成

ギターのイントロ(前奏)→歌手のサリーダ(喉慣らし)→踊り手が登場→ジャマーダで歌振り

○サリーダとはサリーダ・デ・カンテ(喉慣らし)のこと。広義では、ギターのイントロや踊り出しも指す。

○歌振りの数は、事前に伴奏者に伝えること。曲終盤のブレリアやタンゴは歌振りの数に含まない。

○歌の入り方は、ジャマーダの後に直接入る場合と、ギターで1コンパス(場合によっては数コンパス)振ってから入る場合がある。

○ファルセータの有無は、踊りで表現するか、事前にギタリストに伝えるとわかりやすい。

○3拍子系はブレリア、4拍子系はタンゴが曲の終盤で歌われることが多い。歌の数を歌手に伝えること。

○4拍子の場合いろいろな締め方があるので、ハケるか椅子に座って終わる(ギターで締める)ことが一般的。

次回は6月号になりますが、引き続きよろしくお祈りします。

音源は片桐勝彦HPで聴けます！

URL <http://www.toshima.ne.jp/~kata/katsu>

同内容のバルマクラス、スタジオロメロで開催中。

4月12・26日、5月17・31日、20:40～終電ぐらいまで